

「おうみ若者マイスター」から そして「おうみの名工」へ

—令和6年度おうみの名工受彰者、
令和6年度おうみ若者マイスター認定者紹介—



滋賀県

「未来へと幸せが続く滋賀」 をみんなでつくろう



琵琶湖をはじめとする恵まれた自然環境と歴史・文化のある滋賀県は、日本有数のものづくり県であるとともに、今後も様々な産業が生まれ育つ可能性に満ちています。

一方で、少子高齢化が進み、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、本県の強みである「ものづくり」を発展させ、県内産業を振興していくためには、熟練技能者の「匠の技」と「ものづくりの真髄」を多くの方々、特に若い世代に継承していくことが大切であると考えています。

このような状況の中、本県では、長年にわたる研鑽により卓越した技能を身に付けられ、後進の指導・育成にも努めてこられた熟練技能者を「おうみの名工」として表彰するとともに、優れた技能を持つ若い技能者を「おうみ若者マイスター」に認定しています。

本年度認定された「おうみ若者マイスター」や表彰された「おうみの名工」の皆様は、全国でもトップクラスの技能を身につけた、滋賀の誇れる「人財」です。

これからも技能向上に励まれ、プロフェッショナルとして一層飛躍されることを願うとともに、同じ道をめざす子どもたちの憧れの存在として、ますます活躍されることを期待しています。

また、本県では、子ども・若者が希望とともに歩む未来を展望し、「子ども・子ども・子ども」「ひとづくり」「こころとからだの健康づくり」「安全・安心の社会基盤と健康づくり」「持続可能な社会・経済づくり」「自然環境や生物多様性の保全・再生」を重視した取組を進めているところです。

技術・技能に夢と誇りを持った技能者の皆様と共に、滋賀の未来を担う産業ひとづくりの推進にも引き続き取り組んでまいります。

熟練の技術・技能を継承し、新たな発想やアイデアに挑戦する「おうみ若者マイスター」や「おうみの名工」の皆様にも是非お力添えをお願いいたします。

一緒に頑張りましょう！

令和7年2月

滋賀県知事

三 明 大 造

令和6年度おうみ若者マイスター認定者（敬称略）

優秀な若い技能者を「おうみ若者マイスター」として認定するとともに、技能振興活動に協力していただくことで、若年技能者の技能研鑽への意欲向上と、社会全般に技能尊重の気運が醸成されることを目的としています。



令和6年11月11日 滋賀県公館

認定番号	お名前	職種名	勤務先
082	坂永 裕磨 さか なが ゆう ま	アーク溶接工	株式会社小松製作所滋賀工場
083	山元 雄太 やま もと ゆう た	溶射工	株式会社シンコーメタリコン

※認定番号は平成19年度からの通し番号

令和6年度おうみの名工受彰者（敬称略）

現役の優秀な技能者を表彰することにより、広く社会全般に技能尊重の気運を浸透させ、もって技能者の地位および技能水準の向上を図ることを目的としています。



令和6年11月11日 滋賀県公館

受彰者番号	お名前	職種名	勤務先
833	岩佐 昇 いわ さ のぼる	和生菓子製造工	御菓子司 しろ平老舗
834	片渕 彰 かた ぶち あきら	生産設備保全工	ダイキン工業株式会社滋賀製作所
835	川崎 孝雄 かわ さき たか お	木製曲物製造工	株式会社カワサキ
836	黒崎 康 くろ さき やすし	日本料理調理人	株式会社紅鮎 旅館紅鮎
837	中村 隆一 なか むら りゅう いち	仏壇金箔押師	中村仏壇店

アーク溶接工

株式会社小松製作所 勤務

認定番号

082

さか なが

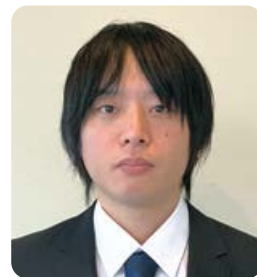
坂永

ゆう ま

裕磨

平成元年（1989年）生

平成30年度 オールコマツ技能競技大会 溶接（薄板）部門 2位
平成30年度 滋賀県溶接技術競技会 炭酸ガスアーク溶接の部 最優秀賞
令和5年度 技能検定鉄工職種（構造物鉄工作業）1級



おうみ若者マイスターに認定されて

この度は『おうみ若者マイスター』に認定いただきありがとうございます。

このような名誉をいただけたのも色々なことにチャレンジできる環境や競技大会、資格取得に向けての指導・ご協力いただいた上司・先輩・同僚の皆様のおかげです。

これまで目標に向かって努力するにあたり失敗や悔しい思いもりましたが得られるものもたくさんありました。特に強く感じたことは諦めなければ成長できるということです。技能とは日々の小さな積み重ねから成るものだと思います。今は無理でも次は少しでもいいモノを作る。そういう思いでチャレンジしてきました。

今後はさらに自身の技能を高めるとともに後進の育成を行うことで会社、地域に貢献していきたいと思っています。



上司からの紹介

坂永さんは2008年4月入社以来アーク溶接業務に従事してまいりました。

業務では主に建設機械用キャビンのフレーム溶接工程を担当し溶接技能を磨き日々努力をかさねてきました。2017年頃からは社内外の競技会に積極的に参加するなど日頃磨いた技能のさらなるレベルアップに努めてまいりました。

この度、その努力が認められ『おうみ若者マイスター』認定という素晴らしい名誉をいただいたことに深く感謝いたします。

坂永さんも今年で入社16年目を迎えコマツ滋賀工場の中堅技能者として現在は業務の傍ら若手の技能指導に積極的に取り組み次世代の溶接技能者育成に尽力いただいています。

今後は社内だけでなく『おうみ若者マイスター』として広く地域活動に貢献されることを期待しております。

溶射工

株式会社シンコーメタリコン 勤務

認定番号

083

やま もと

山元

ゆう た

雄太

平成元年（1989年）生

令和元年度 技能検定溶射職種（肉盛溶射作業）単1級
令和3年度 技能検定溶射職種（防食溶射作業）単1級
工業用ロボットで施工できない複雑な形状の製品に溶射施工ができる特に優れた技能をもっている。



おうみ若者マイスターに認定されて

この度は「令和6年度おうみ若者マイスター」に認定いただきありがとうございました。両親をはじめ、家族に認定の報告をしたところ、とても喜んでくれ、親孝行ならびに父親としての威厳を保てた事、大変嬉しく思っております。

私は、他のマイスターの方のように技能大会等での受賞歴はありませんが、弊社で「現代の名工」の認定を頂いている技能者や、諸先輩方から日々指導を受け技術を磨いてまいりました。バイオマス発電内部の施工では、プロジェクトの立ち上げから上司・先輩方のサポートのおかげもあり、実現することができました。

大変厳しい条件下での施工ではありますが、お客様からの好評の声を頂いた時の達成感や感動を後輩社員にも伝えていくとともに、更に高みの「おうみの名工」目指してまいりたいと思っています。



上司からの紹介

2015年に入社以来、約9年間『溶射施工』に従事しています。

様々な溶射手法の資格を有し、その卓越したハンドワーク技能をもって工場内施工の作業のみならず高さ40mにも及ぶバイオマス発電プラント内部での出張工事業務開発責任者として溶射装置の細かな条件を設定し、厳しい作業条件下で均一な溶射皮膜を実現させています。その超人的な技術力の右に出るものはいません。

今では後輩たちが山元君の技術を教わろうと支援を求め、指導教育にも力をいれてくれており若い世代にその技術が受け継がれていっています。今後も様々な溶射施工技術を身に着け、山元君の情熱的な思いで社会に貢献してもらいたいと思います。

和菓子製造工

御菓子司 しろ平老舗 勤務

受彰者番号
833

いわ さ
岩佐

のぼる
昇

昭和48年（1973年）生



和菓子職人として優れた技能を持ち、全国和菓子協会主催の全国菓子大博覧会での栄誉金賞を始め、様々な賞を受賞されている。また、滋賀県第1号の「選・和菓子職（優秀和菓子職）」に認定され、「文化交流大使」の一員として、世界で和菓子の素晴らしさを披露し、菓銘をもつ生菓子（煉切・こなし）の登録無形文化財登録に貢献されている。

おうみの名工を受彰されて



この度は大変名誉ある「おうみの名工」の表彰をいただき大変嬉しく、また身の引き締まる思いで一杯です。

和菓子製造に携わり早31年が経とうとしています。どの業種でもそうかと思いますが、自らの生業に対して常に考え、実行し、答えを出す、毎日がその繰り返しです。

そのような充実した毎日を過ごせるのも地元をはじめ当店の和菓子を御利用して頂けるお客様、取引先様、そして家族のお陰だとあらためて実感しております。

後継者問題が昨今懸念されておりますが、和菓子業界は大変魅力ある、やりがいのある業種だと自負しております。

和菓子をもっと楽しく、自由な表現ができる世界を自らの使命とし今後の和菓子業界発展に尽力したいと考えます。

生産設備保全工

ダイキン工業株式会社 勤務

受彰者番号
834

かた ぶち
片渕

あきら
彰

昭和33年（1958年）生



長年にわたり金型組立、保全業務に従事され、金型設計から金型組立、保全までの卓越した技能を持ち、平成20年度には社内技能者認定制度で最高位のダイキンマイスターに認定されている。

おうみの名工を受彰されて



令和6年度のおうみの名工に選出いただきありがとうございます。

今回の表彰者の素晴らしい功績を拝見して、その中の一人に選ばれたことを大変光栄に思います。

入社以来、47年間金型に携わる職場を経験して先輩から指導いただき習得した技能、技術、知識力を今後も後輩や海外拠点の人材育成に努めます。

木製曲物製造工

株式会社 カワサキ 勤務

受彰者番号

835

かわ さき

川崎

たか お

孝雄

昭和29年（1954年）生

滋賀県指定の伝統的工芸品「木珠」を製造する職人で、（公益社団法人）国土緑化推進機構に森の名手・名人として認定されている。

令和4年に滋賀県で開催された全国植樹祭において、地元ヒノキ材から製作した記念品が来場者へのノベルティとして活用された。



おうみの名工を受彰されて

このたびは、「おうみの名工」として表彰されましたこと、とても光栄であるとともに身の引き締まる思いです。お数珠に使用する木珠づくりは、約1400年前に近江八幡の地に伝えられたと言われ、人から人へと今日まで途切れることなく脈々と伝わっています。高度な機械など無い時代から、道具の工夫、目視や音・手触りという体感で身につけた技能を次世代に継承してきた先人たちに感謝します。



昨今は、木珠の材料としてお客様自らがこだわりのある木を持ち込んで、オーダーメイドのオリジナル製品の需要が増えています。材料の木によって性質が違い、扱い方も変わってきます。樹種の違いに応じたモノづくりに対応できるよう、さらなる技能の向上に努めていきたいのと同時に、先人たちが私たちに伝えてきてくれたように次世代の育成に力を注ぎ、名工を育てていきたいと思います。

日本料理調理人

株式会社 紅鮎 旅館紅鮎 勤務

受彰者番号

836

くろ さき

黒崎

やすし

康

昭和38年（1963年）生

日本料理の調理に長年に渡り従事し、培った優れた技能と豊富な経験を有しており、技能グランプリでも表彰を受けている。また、長年、調理場における後進指導へ尽力するなど、その功績は日本全職業調理師協会や庖心会から表彰を受けるなど、各団体より高く評価されている。



おうみの名工を受彰されて



大阪府の老舗料理旅館の長男として、家業を手伝い、料理と触れ合って、父より教えを受け、自営のほか各地で師匠・先輩の指導を受け、料理の知識と技術を身に付けました。

2003年滋賀県野洲市の鮎家の郷料理長となり15年間勤めました。その後、大阪府、長野県の高級旅館の料理長を経て、再び滋賀県の料理長の話があり、2023年12月旅館紅鮎の料理長に就任しました。

口中が旨味で一杯になる近江牛、美味しい琵琶湖の恵みがとろけるビワマス、野趣あふれる真鴨の濃厚な味わい、甘み一杯の近江野菜が、この度私に「令和6年度おうみの名工」の表彰を授けてくれました。

私は、此処紅鮎でこれからも口いっぱい広がる近江の幸で幸せな一時を感じていきたいと、真剣に食材と向き合って記憶に残るような料理を作ることができれば幸いです。

今後も「おうみの名工」としてさらなる味の探求をし、後輩料理人たちにも味の継承を心がけていきます。

仏壇金箔押師

中村仏壇店 勤務

受彰者番号
837

なか むら

中村

りゅう いち

隆一

昭和25年（1950年）生



彦根仏壇の金箔押師として長年にわたり、技術、技法の研鑽を積み、業界の発展に寄与された。特に、寺社仏閣の修繕には定評があり、各地の寺社仏閣の修繕に当たってきた。技能の優秀さなどが認められ、彦根仏壇の箔押部門において伝統工芸士に認定されている。

おうみの名工を受彰されて



この度、図らずも表彰いただきましたこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。
父親の仕事に対する姿勢から、いつかは父親を越えたいと、夜遅くまで仕事に没頭していたことは懐かしい思い出です。

お客様の心の拠り所であろう仏壇、寺院のお内陣等の製作にあたっては、常に心を込めて技術を最大限に発揮したいとの思いで取り組んできました。特に金箔押しは、埃一つでも大敵。温度、湿度、漆の調合、漆の拭き加減でまったく違う仕上りになってしまいます。意に沿わない仕上りになってしまった作品は、採算を抜きにして納得のいく仕上りになるまでやり直しておりました。試行錯誤、学習の日々で、完成時には毎度感慨深いものでした。

伝統工芸の美、趣を広く知っていただきたく、その一助となるべく、小中学校の体験学習に十数年参加させていただいている次第です。

興味を持っていただき、将来、優秀な後継者が生まれることを切に願っております。

おうみ若者マイスター認定事業を実施する目的・背景

- 若い方の技能離れや熟練技能の次世代への継承が、滋賀県においても引き続き大きな課題となっており、ものづくり人材の育成を進めていく必要があります。
- 県内産業に従事する現役の技能者で技能や産業社会への貢献度などが特に優れた方を滋賀県優秀技能者「おうみの名工」として表彰していますが、受彰者は長年熟練技能を磨いてきた中高年齢以上の方が中心であり、若年技能者にとってはハードルが高く現実的な目標になりにくいという側面があります。
- そこで、滋賀県では、将来の「おうみの名工」を目指す優秀な若年技能者の方を「おうみ若者マイスター」として認定しています。認定を受けた方には、更なる技能向上のために努力していただくとともに、県主催のイベントなど技能振興活動に御協力いただきます。県民の皆さまの間に継承されるべき技能への関心が高まることを願って、平成19年度からこの認定事業を始め、これまでに83名の方を「おうみ若者マイスター」に認定しています。



令和6年度おうみの名工受彰者、おうみ若者マイスター認定者紹介冊子
「おうみ若者マイスター」から そして「おうみの名工」へ

令和7年2月発行

滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

電 話／077-528-3755(直通)

e-mail／fe0003@pref.shiga.lg.jp